

平成18年度

全国繊維技術交流プラザ

デザイン展

作品展

研究成果発表会

日時：平成18年11月29日(水)・30日(木)
10:00 - 16:00

会場：テクスピア大阪（大阪繊維リソースセンター）小ホール他

入場無料

全国繊維技術交流プラザは、繊維関連公設試験研究機関において開発された新技術や新製品を発表・展示を行い、広く中小企業への普及を図ることを目的として開催いたします。

新しい技術や創意工夫を凝らした試作品の展示、テキスタイルデザイン画の展示、研究成果などの発表を行いますので、ぜひご来場いただきますようご案内申し上げます。



テクスピア大阪（大阪繊維リソースセンター）
〒595-0025 大阪府泉大津市旭町22-45
TEL.0725-31-4401
（南海本線泉大津駅下車徒歩3分）

●主催：全国繊維工業技術協会・（財）日本産業技術振興協会・大阪府・奈良県・和歌山県 ●後援：経済産業省・中小企業庁・独立行政法人産業技術総合研究所・日本繊維機械学会 ●問合わせ：大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部繊維応用系 TEL. 0725-51-2575



この事業は、競輪の補助金を受けて開催いたします。

日本自転車振興会 <http://www.keirin.go.jp>



開催要領

1. 趣 旨

全国公設試験研究機関の新技术、新製品の開発等の研究成果を発表し、広く中小企業に開発成果を普及し、事業化を図るとともに、産学官による交流の場を通じて公設試験研究機関の技術力と職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 名 称

平成 18 年度 全国繊維技術交流プラザ

3. 主 催

全国繊維工業技術協会、(財)日本産業技術振興協会、大阪府、奈良県、和歌山県

4. 後 援

経済産業省、中小企業庁、独立行政法人 産業技術総合研究所、日本繊維機械学会

5. 会 期

平成 18 年 11 月 29 日(水)～30 日(木) 午前 10 時～午後 4 時

(開会式 11 月 29 日 午前 10 時～)

6. 会 場

テクスピア大阪(大阪繊維リソースセンター)小ホール他

大阪府泉大津市旭町 22-45(TEL0725-31-4401)

大阪府立産業技術総合研究所(TEL0725-31-4444)

7. 内 容

- (1) 作 品 展 : 全国の公設試験研究機関の試作品、指導作品、研究成果パネル
- (2) デ ザ イ ン 展 : デザイン分科会関係機関の作品
- (3) 研究成果発表会 : 公設試験研究機関の研究成果(別紙要領参照)

8. 出品手続き

別に定める出品規程による。

9. 審査、表彰

審査会規約、審査要領、審査方法により優秀と認められた試作品について、中小企業庁長官賞、産業技術環境局長賞始め 10 の賞を授与する。

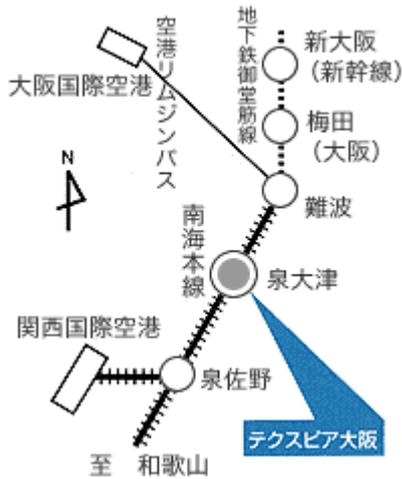
(1) 審査会 平成 18 年 11 月 28 日(火)午後 1 時 00 分～

(2) 表彰式 平成 18 年 11 月 29 日(水)午前 11 時 00 分～

10. 実行委員会

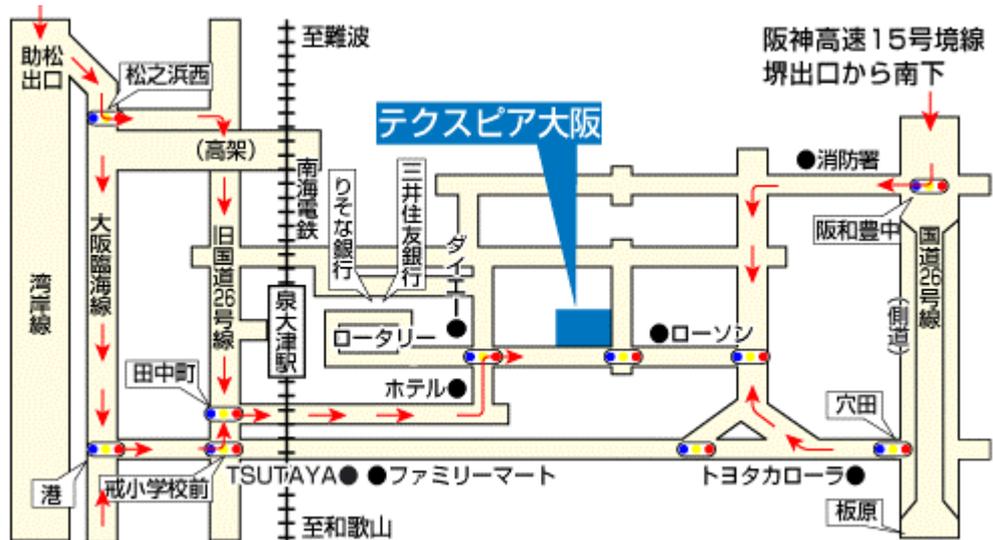
平成 18 年度 全国繊維技術交流プラザの運営及び業務実施については、近畿支部構成機関関係職員で構成する実行委員会が行う。

会場への交通ご案内



電車でのアクセス

- 南海本線「難波駅」から「泉大津駅」まで急行で約20分
- 南海電鉄空港線「関西空港駅」から「泉大津駅」まで急行で約25分
- 南海本線「和歌山駅」から「泉大津駅」まで急行で約40分
- 「泉大津駅」からテクスピア大阪までは徒歩3分



発表プログラム

高齢者にはいていただけるヒッププロテクターの開発 東京都立産業技術研究センター

大腿骨頸部骨折を予防するヒッププロテクターの商品開発と社会への普及が課題である。今回の発表では、商品コンセプトを見直した上で、デザイン、素材等の検討を行い、機能や装着感を向上させ、且つファッション性を高めた商品を開発したことを発表します。

褥瘡予防寝具類の性能評価 大阪府立産業技術総合研究所

一般に「床ずれ」と呼ばれる褥瘡の病態は、持続的圧迫による人体局所の虚血性皮膚壊死が生じることである。寝具類が褥瘡の生じやすい部位における人体組織の血流に与える影響を、被験者に仰臥姿勢を保持させ、仙骨部での接触圧と組織血流量を同時に測定した結果について発表します。

皮膚表面温度解析手法によるタオルの快適感評価 大阪府立産業技術総合研究所

タオル製品により身体に付着した水を拭き取ることに注目し、タオルの吸水性の違いと皮膚表面温度の変化について検討した。さらに拭取り後の官能評価と皮膚表面温度との関連について考察した結果を発表します。

トランスグルタミナーゼを用いた酵素の安定化 愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター

酵素の安定化を図るため、たんぱく質中のグルタミン残基とリジン残基間の架橋を触媒する酵素であるトランスグルタミナーゼを用いてプロテアーゼ等の繊維加工に使用される酵素剤の安定化について検討した結果を発表します。

焼成貝殻粉末を用いたポリ乳酸素材の高機能化に関する研究 群馬県繊維工業試験場

生分解性プラスチックのポリ乳酸は、加水分解時に乳酸を生成するため、乳酸を資化できない微生物に対して抗菌作用を示す。ポリ乳酸に焼成貝殻粉末を混入させ、高温高圧処理を行った場合、ポリ乳酸固有の抗菌作用が消失する興味深い事実を見いだした。このポリ乳酸の抗菌効果と生分解性との関連性について発表します。

CGSおよびCGS IIフォーマット紋紙情報の検査およびデータベース化アプリケーションの開発

京都市産業技術研究所繊維技術センター

CGSフォーマットの紋紙情報からCGS IIフォーマットの紋紙ファイルに変換する時点においてユーザーの誤操作によっては、不正確なCGS IIフォーマットに変換されてしまう可能性がある。そこで、今回CGS II紋紙ファイルの検査アプリケーションの機能を拡充した結果について発表します。

先染織物の小ロット対応生産技術の高度化に関する研究－複数の柄を一度に織る技術の開発－

兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

”製織準備工程の合理化”を図るため、複数の異なる柄の織物を一度に生産するシステムを検討した。その結果、先染織物生産工程の合理化につながり、産地の重要で緊急な課題である”小ロットに対応した製織準備工程の合理化”が達成できたことを発表します。